



北海道廳野付牛中学校
北海道廳立北見中学校
北海道北見高等学校
北海道北見北斗高等学校

東京とどの実

<発行>

東京とどの実会 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島4-6-11

湯島ハイタウンA-207

<http://www.tokyo-todonomikai.com>

mobile 080-2123-7380

mail tokyotodonomikai@gmail.com

同窓生紹介

Interview



北見の大地が育んだトップガン 日本をサイバー攻撃から守る

平成2年卒 名和 利男さん

現代は情報戦の時代と言われています。企業活動だけでなく、国防においても、兵器による攻撃よりも情報戦、特にインターネットを介した、いわゆるサイバー攻撃が主流となり、私たちには見えないところで、様々な攻防が繰り広げられているようです。今回は、その最前線で日本を守っているサイバーセキュリティの第一人者、名和利男さんに今のお仕事と北斗での思い出を語って頂きました。

現在のサイバーセキュリティの状況は？

まず脅威をもたらす主体として、国家の支援を受ける攻撃グループ、金銭獲得に執着したサイバー犯罪者、そして愉快犯的な個人まで様々存在します。これらの攻撃は日常生活の中で直接目の当たりにすることは大変難しい。従って、国家がサイバー脅威を見る化し、企業や個人に対する危機

意識の醸成と脅威に適合した対策支援を提供することが必要ですが、日本は不十分な状況が続いています。他の主要国は国家サイバー機関を通じてこの努力をしています。例えば、北京冬季五輪に関連して中国に入国する者に義務付けられた健康アプリMY2022に関する問題がありました。西側諸国は選手・関係者に対して個人のスマートフォン携帯を貸与して入国させました。日本は開会式が始まる2時間前にやっと注意喚起を出ただけだった。このように日本にはサイバー脅威から日本社会、政府組織、企業、国民を守る機関がないのです。私たち一人一人の意識を高め、早期に立法府で法律を作り、機関を設置することが求められています。このような状況のままでいると、深刻な状況になるまで、一国民として脅威を感じ取れないのではないかと思います。つまり、その時にはもう手遅れというか、悲劇的な状況になつているということです。

次にこのようなお仕事に就いている名和さんを育んだ子供時代について語つて頂きました。

私は北見市北光（現末広町）で生まれ育ちました。親戚が農家だったので、幼少期はその手伝いに明け暮れました。農業は私に物事をきちんと行うためには適切な手順が大事であるということを教えてくれました。中学時代には自転車で市立図書館に通い、物理や数学の勉強をしました。特に重力の仕組みに興味があったので、外国語の論文を読み漁りました。北斗では生徒会活動や吹奏楽部で活動しました。吹奏楽ではトランペットを担当し、定期演奏会前には、近所の無加川の河川敷で個人練習をした記憶があります。また当時、体が細いことが嫌で、道立体育館に通い筋トレをしてました。

中学時代に物理の論文を読破するという秀才ぶりを發揮されていた名和さんが、なぜ自衛隊に入り、今のお仕事をするようになったのでしょうか。

家の経済的な問題で大学進学をあきらめていたころに自衛隊への勧誘があり応募したのがきっかけです。当初は、海上自衛隊の護衛艦の特殊な部門（戦闘情報中枢）で、基礎的な数学を活用する電測員の任務に就きました。その後、航空自衛隊に再入隊して信務暗号通信を中心にさまざまな任務に就きました。特に、地方の辺鄙などところ（分

教職員にも生徒にも勢い



北海道北見北斗高等学校 校長 元村 治郎先生

四月一日付けて
東川高校より着任いたしました。

した元村

治郎と申します。どうぞよろしく

お願ひいたします。私は57期、高

校入学と同時に北見商業高校がで

き商業科の生徒は2・3年のみで、

1年生は普通科6クラスのみの学

年でした。2年生になつてから恩

師である橋本定彦先生（本校39期、

第25代本校校長）が教諭として着

任され、声を掛けられラグビー部

に入部しました（当時は地区大会

で敗退する弱いチームでした）。

平成4年から北斗高校の教員と

して赴任し、平成14年の春まで10年間お世話になりました。再びお

世話になるとは思つてもいませんでした。百周年を迎えた、同時に

初めての理数科設置、SSH（ス

ペーサイエンスハイスクール）の

指定、新学習指導要領の施行、IT

C教育の推進など、節目の行事に加えて、そして全国的な高校教育の転換も相まって、大きなうねりの時に赴任でき本当に幸運に思っております。

約20年振りに母校に戻つて感じ

ることですが、教職員にも生徒に

お願いいたします。これからも生

徒の向上心を伸ばし、成長を支え

ることができます。できるような学校体制づくりを目指して努力したいと考えております。



昨年10月3日強行遠足出発前

昨年の春の赴任以来、学校運営、百周年の記念行事推進の上で、小原誠会長をはじめ、多くのとどの実会関係の方々に本当にお世話になつております。東京とどの実会のみなさまにも、今後とも北斗高校のさらなる発展のためご支援賜りますようお願い申し上げござります」といたします。

も勢いがあります。様々な取組で成果もでているからでしょうか、教職員の仕事に向かう姿勢、生徒の真摯に努力する姿勢、とても活気を感じています。これからも生徒の向上心を伸ばし、成長を支えることができるような学校体制づくりを目指して努力したいと考えております。

セキュリティ関連の仕事は自衛隊では

様々な制約があつたため、民間で働くことになりました。国内外の政府機関や民間企業などからサイバー関連の要請を受ける形で、活動を行つていてます。

最後に、北見北斗高校在校生や東京などの実会にメッセージを頂きました。

在校生には高校時代に物事の本質を見抜くための力を学業や部活で得て頂きたいです。そのためには失敗も大事です。大いにチャレンジしてください。

東京とどの実会の皆さん、今、サイバーで世の中は激変しています。よく見定めて対応して頂きたいと思います。今は仕事の性質上、総会や懇親会には参加できませんが、日本の人々の安全が確保できるようになつたあつかには、皆さんと交流させて頂きたいと思います。それまでは陰から支えさせていただきたいと思います。

開校当時の様子を、北見北斗高校

新聞によれば「開校日の四月十五日は吹雪。西小学校内に仮校舎。職員

北斗百年によせて、各地から

北斗開校百年

歴史と伝統に誇り

関西とどの実会 会長

昭和42年卒 伊藤 純夫

北見北斗高校が大正十一年に、野

一面名和氏インタビューの続き

屯基地）から大きな基地で業務することを目指して、空自内で開催される駅

伝や英語弁論等の大会で上位を目指したことなどが評価され、在日米軍との連絡調整業務や特殊な調査業務などにも携わりました。このような業務を通じて、

インテリジェンスやコンピュータの技術を身につけていきました。サイバー

セキュリティ関連の仕事は自衛隊では

様々な制約があつたため、民間で働くことになりました。国内外の政府機関

や民間企業などからサイバー関連の要

請を受ける形で、活動を行つていてます。

最後に、北見北斗高校在校生や東京と

どの実会にメッセージを頂きました。

在校生には高校時代に物事の本質を見抜くための力を学業や部活で得て頂きたいです。そのためには失敗も大事

です。大いにチャレンジしてください。

東京とどの実会の皆さん、今、サイ

バーで世の中は激変しています。よく見定めて対応して頂きたいと思います。今は仕事の性質上、総会や懇親会には参加できませんが、日本の人々の安全が確保できるようになつたあつかには、皆さんと交流させて頂きたい

と思います。それまでは陰から支えさせていただきたいと思います。

開校当時の様子を、北見北斗高校新聞によれば「開校日の四月十五日は吹雪。西小学校内に仮校舎。職員

四名。第一学年15名。なお最初に着任されたのが初代校長の佐藤猪之助先生」さらに「小学生による旗行列などもくり出し、町中で開校を祝つた」と記載されています。

開校当日が吹雪とは、北見らしい風景ですね。開校時の町民の祝福が、その後の北斗の強行遠足、文化祭、クラブ活動などへの市民のあたたかい声につながつてきていました。このことは、私自身が北斗に在学の時から感じることができました。

北斗卒業後、何年、数十年たつては如何お過ごしでしょうか。一昨年から約2年間猛威を続けている新型コロナウィルス感染症の影響で全ての行事が変更・中止に追い込まれ、4年間」が貴重な時だつたからだと思います。

さて関西とどの実会は、一九八二年に結成、今年で四十年となります。この3年間は、総会・懇親会をコロナ感染防止のために中止としました。近い時期に素晴らしい先輩、頼もしい後輩が集まつて総会が実施できることを願っています。

毎年の総会・懇親会ではなく、「今の社会について」「人生論的なこと」など、

毎回「いい話」が聞けています。
北見北斗高校ならびに東京とどの実会の発展を願っています。

誇りある北見北斗高校のますますの発展を

とどの実会 会長

昭和52年卒 小原 誠

令和4年度の「東京とどの実」会報発行に際しまして一言ご挨拶申し上げます。

全国の同窓生の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。一昨年から約2年間猛威を続けている新

型コロナウィルス感染症の影響で全ての行事が変更・中止に追い込まれ、卒業式・入学式・強行遠足（第89回男子71km、女子41.2km、保護者ボランティア六百名）におきましても

元村治郎校長をはじめ教職員の皆さんには大変御苦労されたと思います。特に今回の国立大、私立大の受験におきましては卒業生は大変だったと思思います。ここで昨年4月に赴任さ

57期の同窓生であります。高校時代はラグビー部に所属し、担当科目は英語だそうです。

さて本校は二〇二二年（令和4年）創立百周年を迎えます。大正11年北海道庁立野付牛中学校として開校し市制施行により北見中学校、北見高等学校、北見北斗高校へと変遷しつつも隆々たる発展を遂げてまいりました。開校以来この百年間建学の精神である文武両道・質実剛健の校風はゆるぎなく継承され我が同窓生は二万七千名を數えます。昨年11月には創立百周年記念協賛会設立総会が行われ総務（永田裕一委員長・59期財務（原谷真人委員長・57期）式典（細川秀樹委員長・62期）祝賀会（田巻順子委員長・65期）事業（坂田裕委員長・46期）編集（宮本幸喜委員長・55期）会計監査（信田直哉・59

期、渡部道博・52期前校長）事務局（赤羽史人・64期教諭）の布陣で記念行事の準備をはじめているところです。式典・祝賀会二〇二二年（令和4年）9月17日（土）に北見北斗体育館、黒部ホテルにて行われる予定です。なお記念講演は同窓生である荒瀬尚（59期）さんにお願いしております。ちなみに荒瀬尚さんは大阪大学微生物研究所免疫化学分野教授で、第58回（二〇二一年）ベルツ賞一等賞（受賞タイトルは「ウイルス感染症の制御機構」）を受賞しました。また、今回カーリングで銀メダルの藤沢五月さん（85期）にもお

願いしようと思います。

また百周年の二〇二二年（令和4年）には理数科の設置が決定され理科1クラス、普通科5クラスの編成になります。百周年を迎えるにあたりこれまで本校教育活動にご尽力された方々の御苦労に感謝し北見北斗の絆にかかる人々の連帯をさらに強固なものにしていきたく存じます。最後に改めて誇りある我が北見北斗高校のますますのご発展と同窓会の皆様そしてご縁のある皆様のご繁栄とご健勝を祈念して挨拶といった



れた元村治郎校長についてですが、北見北斗はラグビー部に所属し、担当科目は英語だそうです。

さて本校は二〇二二年（令和4年）創立百周年を迎えます。大正11年北海道庁立野付牛中学校として開校し市制施行により北見中学校、北見高等学校、北見北斗高校へと変遷しつつも隆々たる発展を遂げてまいりました。開校以来この百年間建学の精神である文武両道・質実剛健の校風はゆるぎなく継承され我が同窓生は二万七千名を數えます。昨年11月には創立百周年記念協賛会設立総会が行われ総務（永田裕一委員長・59期財務（原谷真人委員長・57期）式典（細川秀樹委員長・62期）祝賀会（田巻順子委員長・65期）事業（坂田裕委員長・46期）編集（宮本幸喜委員長・55期）会計監査（信田直哉・59

高齢社会における

同窓会のカタチ

札幌とどの実会 会長

昭和40年卒 佐々木 亮子

札幌とどの実会は2年連続して総会が中止になりましたが、その前年の二〇一九年は創立55周年、第50回目総会という記念すべき年でした。この年、後輩たちに手渡せる二つの財産を作ることができました。

一つが、林新治顧問（第5代会長）の「母校の歩みとともに55年」の講演録です。北見北斗高校及び札幌などの実会の歴史を「札幌とどの実会報第41号」に掲載し、記録しました。

札幌とどの実会の特徴として、諸先輩が築いてきた親睦事業があります。囲碁会、ゴルフ会、野遊会、とど飲み会、パークゴルフ会（春季、秋季）に続いて7番目の「との実女子会（お話しサロン）」の発足記念講演として実現したものです。

もう一つが、安藤英征顧問（第8代会長）と35期の会員たちが作成してくれたDVDです。過去の写真や動画を編集し、音楽とナレーション

が入った映像による札幌とどの実会

の歴史です。これからも懇親会で流し続け、後進に伝承していくくつもりです。

本年めぐり合わせで母校の百周年年に立ち会うことになりました。これを契機に北見、旭川、札幌、東京、関西の遠隔地の各とどの実会が会報やホームページ等を通じて双方向の情報交流を活発に展開するよう期待してやみません。

多士済々のとどの実会の校友を通じて、知らない分野のことを「学び」人と「交流」することが高齢社会の同窓会の新しいカタチになることを願っています。

創立百周年に寄せて
鈴木富雄（43期）

創立百周年、おめでとうござい

ます。

43期生は、平成10年（一九九八年）以来、43期同期会（普通科）を毎年開催しています。参加者は関東、

関西、北見、札幌等から、毎回20～25名が集まって1泊2日の忘年会もしくは旅行会を続けています。

開催場所は東京周辺が多いですが、

札幌（定山渓）、京都・奈良等で行うこともあります。ここ2年間は、コロナ禍で中止となつて寂しい思いをしています。他にも花見会（3月～4月）や観劇会、東京北見契機に北見、旭川、札幌、東京、関

西の遠隔地の各とどの実会が会報やホームページ等を通じて双方向の情報交流を活発に展開するよう期待してやみません。

平成30年10月15日に、43期卒業50周年同期会が大江本家（温根湯）であり、恩師 浅野先生、後藤先生にご出席いただき、66名が集まつて親交を深め合いました。

その翌日には、16人が母校を訪問し、渡辺道博校長（北見北斗卒）に応対していただき、校舎内の案

内や教育の指導方針等について説明を受けました。

文科省のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定校に選ばれていて、祭日でしたが勉強をしている教室があるので見て驚きました。一方で、伝統の強行遠足（男子71km、女子42km）や部活動が盛んに行われているとのことです。受験校に特化することなく、文武両道の建学の精神が繋がっていることを知り安堵したのを覚えてい

ます。これからも道東の憧れの北見北斗であつて欲しいです。

合唱部先輩との遭遇

昭和47年卒 福村忠雄（チェロ奏者）



海を望む伊東市の自宅にて

もう18年くらい前、八王子の借家、電気配線の不具合で業者の方を呼んだときの事。

私は居りませんでしたが、その業者の方スイスイと天井裏に上がって

いたったそうです。修理を終え、妻

後日別の修理の時お会いして色々お話を聞きました。先輩が在学中の頃、札幌から合唱の指導者を招いたそうで、高名なピアニストの奥様と

声をあげたそうです。

後日別の修理の時お会いして色々お話を聞きました。先輩が在学中の頃、札幌から合唱の指導者を招いたそうで、高名なピアニストの奥様と

内や教育の指導方針等について説明を受けました。

文科省のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定校に選ばれていて、祭日でしたが勉強をしている教室があるので見て驚きました。一方で、伝統の強行遠足（男子71km、女子42km）や部活動が盛んに行われているとのことです。受験校に特化することなく、文武両道の建学の精神が繋がっていることを知り安堵したのを覚えてい

先輩は原さんで、昭和27、28年卒業、仕事の現場での同窓生との出合

は初めてで、その後原さんの自宅近くでコンサートがあり、訪ねましたが不在で玄関にお誘いのメモを貼り

ましたが、丁度ゴルフに行かれていてかないませんでした。

私は3年くらい前から中3で始めたハムを再開し、最近国家試験で一級合格。欠落していた数学、いや算数をまさかここで補うことになると

は思いませんでした。



1968年頃の無線機（上下共）

昭和52年卒 石川 求

舌の想い出

あの頃の北斗高校にはごく簡素な食堂が昼休みにあった。メニューはほんの数えるほどだったと思う。その味をいまだに覚えているから舌というのはむごい。

かけラーメンのたんなる塩味。かけ蕎麦のあまりにも濃い醤油味。具

は刻んだネギ少々それだけ。カレー ライスもあつたはずだが覚えてない。米の弁当はどうに食べていたから麺類だったのか。開始時間には人が殺到した。

常連は物理のN先生で、「かつてなく混んでいる」が口癖だった。直前の授業終了を早め、（手も洗わずに？）駆けつけて来られた。本来なら病院なんかでご飯やおかゆを盛るのであろうあの黄色い食器でみな麵をすすつた。

カレーというと舌が好ましく覚えているのは、向かいのNHK北見放送局にあつた（食堂ならぬ）レストランのそれに尽きる。真っ黒な色。ビターで大人の味。最初は驚いたが、いつしかファンになつていた。また食べてみたいと幾度思い願つたことだろう。実は数年前にそれをいざ叶えようと恐る恐る行つてみた。ところが、かつてのレストランはもはや小さな社員向け食堂にしょんぼりと変身しているではないか。あの恋しきカレーも消え失せ、私のみが以後も無駄に生き延びて、四十有余という年だけ重ねちまたことを呆然とう思ひ知らされたのだった。

昭和59年卒 赤坂（久保）依子

強行遠足からつづくもの

北見で過ごした日々は5年あまりですが、どこまでも続く広くて高い青い空は、今まで暮らしたどこの空よりも美しいものだったように思います。

楽しかった高校生活の中での一番の思い出は、強行遠足です。学校の周りを何周も走った体育の時間、暑い

中での苦しいマラソン大会、そして明けきらぬ夜に始まる本番。1年の時は、とにかく完走すること。2年は記録に挑戦。そして3年は友人と楽しく走ること。3年間を通して、その時々で目標を持ち、苦しくも楽しかった経験はその後の人生にも少なからずの影響を与えてくれたのだと思います。

今では、同期にもたくさんのラン仲間ができ、情報交換や、一緒に大会に参加するようになりました。走る人だけでなく、写真を撮つてくれる人、沿道で応援してくれる人、それぞれの想いを持つたくさんの方々がいます。しばらく大会はありませんが、じゃあ、次は何をしようか？私たちには、確実に、前へ進もうとする力が備わつたのだと思います。



念な事前準備、苦しい本番、大人ならではの楽しい祝杯。

北斗百年、思い出の数々

昭和50年卒 横山 大介

強行遠足の思い出

私が強行遠足で強烈な思い出として残っているのは、3年生の時の中ノ沢の関門での出来事です。

私が3年生の強行遠足は昭和49年で、前年に優勝した私は今年も優勝を目指し、張り切って北見をスタートしました。置戸の手前でトップに立つと順調に走り続けていましたが、50kmを過ぎると両足は痛み始め、頭もボーッとしてきました。次の関門は中ノ沢です。走った人なら誰でも知っていますが、中ノ沢は女子との合流地点であり、美味しいお汁粉がふるまわれるのです。

昨年トツプで中ノ沢

2019年の東京マラソンの30km地点にて

当時の通過カード

に入った私は知り合いの女子と一緒に汁粉に舌鼓を打ちながらおしゃべりしたことを思い出しながら、頭の中は女子に会うこととお汁粉でいっぱいになつて中ノ沢に向かつて走り続けていました。

ところが、中ノ沢に到着した私は昨年と違う様子に気が付きました。女子がほとんどいないのです。聞くとまだ女子の7位か8位くらいで、のんびり仲間としゃべっている女子など誰もいません。そうか、着くのが早過ぎたか。昨年は途中で歩いてしまつたから、今年は絶対に走り通そうと心に決めて走っていた分早かつたんだ。

仕方なくせめてお汁粉をいただこうとしたら、何とまだ出来ていないと言うではありませんか！私がよほどがっかりした顔をしていたのでしよう。気の毒に思った父兄の方が持つてきてくれたまだ冷たく、餅も入つてないお汁粉を、ずずっとすすつて、残り約18kmの道のりを走り始めました。

1位でフィニッシュした後に、常に磐公園で食べたうどんがとても美味しかったことも、今でも懐かしく思

思い出～生徒会機関紙「とどの実」

平成3年卒 清水 真規

当時、この冊子が好きで、受験勉強の合間によく眺めていたのを思い出します。思い返すと「とどの実」は、若いエネルギーに溢れ、未来に対する希望がギュッと詰まった冊子でした。長い年月を経た今、ページを開いてみると、先生方からの卒業生に贈る言葉は愛情に満ち溢れ、北斗生としての3年間は人生において大切ことを教わっていたのだと改めて気づかされます。ポケベル全盛時代の当時でしたが、こんな言葉もいた

だいていました。昨今のコロナまで見通していたわけではないと思いますが、まさに慧眼です。

・二十一世紀の社会は、物の生産・消費よりも、まさに慧眼です。

今、こうやつて再びとどの実を眺めながら、北斗生時代の良き思い出に思いを馳せることができることに感謝したいと思います。

（一九八九年 36号 尾村生徒会長
卷頭言より）

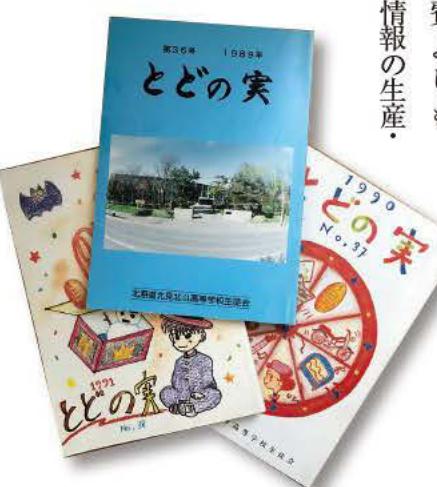
今、こうやつて再びとどの実を眺めながら、北斗生時代の良き思い出に思いを馳せることができることに感謝したいと思います。

お亡くなりになつた方
(二〇二一年)
ご冥福をお祈りいたします。

昭和32年卒 古川 周平
昭和41年卒 梅原 道彦

消費が重要な意味を持つてくる社会です。（中略）将来このようなシステムがより発達すれば、家に居ながら会社勤務ができたり、病院に行かなくても診断が受けられるようになるだろうといわれています。（一九九〇年 37号 柏原教頭 贈る言葉より）

また、当時と今を繋ぐタイムカプセルのようなメッセージもあります。30年を経た今と高校時代の思い出を繋ぎ、両方に輝きを与えるものです。今は「新人類」と呼ばれている私たちが将来「新人類」ではなくなった時、高校時代を振り返り、そこに輝くような思い出を見ることができたなら、それはとても幸せなことです。



岡田侃一先生追悼記

昭和43年卒 木村 篤

昨年末、4月8日に岡田先生が亡くなつたことを知りました。享年81歳。一九六四年、岡田先生着任と共に、入学した42期広川東京とどの実会会長は、最も魅力的で親しみを感じる、朝寝坊して授業に来ない先生を迎えていた、あんな型破りな高校教師は後にも先にもいなかつた、などと書いています。

60年代半ばは、日本の高度成長期、と言うだけでなく、世界の社会、経済、文化の大変容期。人間、10代半ばから20代にかけての時期、特別な時代と感じるのですが、岡田先生は、この時に、東京、世界への窓口的存在として北斗に現れ、唯一担任となつた43期3組を中心に多くの岡田チルドレンを生み出しました。

先生は、9年間の北斗生活の後、故郷の兵庫で、教師を続けましたが、定年後北見で教育シンポジウムを主催するなど、北見への強い思いを抱き続けていました。先生と43期の岡田チルドレンは、定例泊りがけ忘年会や、先生上京時の呑み会などを続け、

親しい兄と言える存在でした。先生が亡くなつたとは、信じられない、というのが岡田チルドレンたちの気持ちです。先生の死は、既にこの世を去つた多くの北斗の良き人たちを思い出させました。その人々も含め哀悼の意を捧げます。



教壇に立つ在りし日の岡田先生

東京とどの実会役員 (二〇一〇年七月～二〇二二年六月)												
幹事長	副幹事長	幹事長	副幹事長	幹事長	副幹事長	監査	顧問	会長	副会長	名譽会長	会計	
昭40年卒 前田 良三	昭40年卒 石渡 俊弘	昭40年卒 前田 良三	昭40年卒 石渡 俊弘	昭40年卒 前田 良三	昭40年卒 石渡 俊弘	昭40年卒 前田 良三	昭40年卒 石渡 俊弘	昭40年卒 前田 良三	昭40年卒 石渡 俊弘	昭40年卒 前田 良三	会計	
昭41年卒 平澤 芳樹	昭41年卒 木村 篤	昭41年卒 平澤 芳樹	昭41年卒 木村 篤	昭41年卒 平澤 芳樹	昭41年卒 木村 篤	昭41年卒 平澤 芳樹	昭41年卒 木村 篤	昭41年卒 平澤 芳樹	昭41年卒 木村 篤	昭41年卒 平澤 芳樹	会計	
昭42年卒 池田 順子	昭42年卒 井上 順治	昭42年卒 池田 順子	昭42年卒 井上 順治	昭42年卒 池田 順子	昭42年卒 井上 順治	昭42年卒 池田 順子	昭42年卒 井上 順治	昭42年卒 池田 順子	昭42年卒 井上 順治	昭42年卒 池田 順子	会計	
昭43年卒 岡田 光弘	昭43年卒 松田 好美	昭43年卒 岡田 光弘	昭43年卒 松田 好美	昭43年卒 岡田 光弘	昭43年卒 松田 好美	昭43年卒 岡田 光弘	昭43年卒 松田 好美	昭43年卒 岡田 光弘	昭43年卒 松田 好美	昭43年卒 岡田 光弘	会計	
昭44年卒 池田 好美	昭44年卒 小沼 宽	昭44年卒 池田 好美	昭44年卒 小沼 宽	昭44年卒 池田 好美	昭44年卒 小沼 宽	昭44年卒 池田 好美	昭44年卒 小沼 宽	昭44年卒 池田 好美	昭44年卒 小沼 宽	昭44年卒 池田 好美	会計	
昭45年卒 木村 篤	昭45年卒 村上 幸子	昭45年卒 木村 篤	昭45年卒 村上 幸子	昭45年卒 木村 篤	昭45年卒 村上 幸子	昭45年卒 木村 篤	昭45年卒 村上 幸子	昭45年卒 木村 篤	昭45年卒 村上 幸子	昭45年卒 木村 篤	会計	
昭46年卒 池田 好美	昭46年卒 村上 幸子	昭46年卒 池田 好美	昭46年卒 村上 幸子	昭46年卒 池田 好美	昭46年卒 村上 幸子	昭46年卒 池田 好美	昭46年卒 村上 幸子	昭46年卒 池田 好美	昭46年卒 村上 幸子	昭46年卒 池田 好美	会計	
昭47年卒 伊東 千鶴子	昭47年卒 立崎 幸子	昭47年卒 伊東 千鶴子	昭47年卒 立崎 幸子	昭47年卒 伊東 千鶴子	昭47年卒 立崎 幸子	昭47年卒 伊東 千鶴子	昭47年卒 立崎 幸子	昭47年卒 伊東 千鶴子	昭47年卒 立崎 幸子	昭47年卒 伊東 千鶴子	会計	
昭48年卒 矢萩 篤	昭48年卒 田上 博志	昭48年卒 矢萩 篤	昭48年卒 田上 博志	昭48年卒 矢萩 篤	昭48年卒 田上 博志	昭48年卒 矢萩 篤	昭48年卒 田上 博志	昭48年卒 矢萩 篤	昭48年卒 田上 博志	昭48年卒 矢萩 篤	会計	
昭49年卒 渡辺 篤道	昭49年卒 引地 聰	昭49年卒 渡辺 篤道	昭49年卒 引地 聰	昭49年卒 渡辺 篤道	昭49年卒 引地 聰	昭49年卒 渡辺 篤道	昭49年卒 引地 聰	昭49年卒 渡辺 篤道	昭49年卒 引地 聰	昭49年卒 渡辺 篤道	会計	
昭50年卒 由紀子 典行	昭50年卒 生駒 謙	昭50年卒 由紀子 典行	昭50年卒 生駒 謙	昭50年卒 由紀子 典行	昭50年卒 生駒 謙	昭50年卒 由紀子 典行	昭50年卒 生駒 謙	昭50年卒 由紀子 典行	昭50年卒 生駒 謙	昭50年卒 由紀子 典行	会計	
昭51年卒 柳田 久保	昭51年卒 大場 立嶋	昭51年卒 柳田 久保	昭51年卒 大場 立嶋	昭51年卒 柳田 久保	昭51年卒 大場 立嶋	昭51年卒 柳田 久保	昭51年卒 大場 立嶋	昭51年卒 柳田 久保	昭51年卒 大場 立嶋	昭51年卒 柳田 久保	会計	
昭52年卒 米地 徹	昭52年卒 依子 幸子	昭52年卒 米地 徹	昭52年卒 依子 幸子	昭52年卒 米地 徹	昭52年卒 依子 幸子	昭52年卒 米地 徹	昭52年卒 依子 幸子	昭52年卒 米地 徹	昭52年卒 依子 幸子	昭52年卒 米地 徹	会計	
昭53年卒 柳田 美和	昭53年卒 伸子 幸子	昭53年卒 柳田 美和	昭53年卒 伸子 幸子	昭53年卒 柳田 美和	昭53年卒 伸子 幸子	昭53年卒 柳田 美和	昭53年卒 伸子 幸子	昭53年卒 柳田 美和	昭53年卒 伸子 幸子	昭53年卒 柳田 美和	会計	
昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	昭54年卒 昭54年卒	会計	
昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	昭55年卒 昭55年卒	会計	
昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	昭56年卒 昭56年卒	会計	
吉見 じゅり	鎌田 哲生	渡邊 哲生	矢萩 哲生	引地 哲生	田上 哲生	生駒 哲生	角 哲生	正三 哲生	廣川 哲生	村田 哲生	由美子 哲生	会計

東京とどの実会 ひとくち歴史

東京とどの実会の始まり

二〇〇〇年発行の会報第1号の誌面に21期後藤登さんが「昭和27年に2年前に発足した東京と

どの実会の総会に初めて参加した。会長は佐々木喬さん（1期）、総会参加人数は約30人だった」と寄稿されています。2代目会長の吉見一郎さん（3期）は和25年（一九五〇年）に発足したことがうがえます。2代目会長の吉見一郎さん（3期）は二〇一二年の第63回総会まで毎年元気に参加され、会の発展を見守られました。3代目会長桂教夫さんは「この会は、戦後の混乱期に野中、北見中学の諸先輩が上野、浅草、新宿で交友を温め、酒を酌み交わし始めたのが始まりと聞いておられます。以来50年。たくさんの同窓生の皆さんのご協力で発展して参りました」と記しています。

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	1,691,209	製本印刷費	180,000
総会懇親会収入	0	総会懇親会費	0
年会費収入(183口)	366,000	通信交通費	200,204
寄付金収入	0	消耗品費	4,018
預金利息	12	涉外費	7,784
		会合費	0
		支払手数料	34,898
		次期繰越金	1,630,317
合計	2,057,221	合計	2,057,221

令和2年度会計報告書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

北斗創立百年に花を添える！



十分に楽しませてくれました。決勝は残念でしたが、それまでの爽やかな戦いぶりを堪能しました。藤澤さんは表彰式のあとに「悔しさ

嬉しさ半々」と言っていましたが、北見出身者には嬉しさばかりです。

普段11時頃に寝る私ですが、準決勝進出をかけたスイス戦、準決勝の

再びのスイス戦、つい

最後まで見て日付が変わってしまいました。

自分の子供より年下の彼女たちの精神力に脱

帽。特に準決勝の藤澤さんの最後の一投、

普段通り投げれば難しくない置きに行くく

ショット、でも失敗すれば延長戦に突入

という緊張感に、見ている方が肩が凝つてしましました。

今回の五輪はジャンプの失格問題やドーピング問題などスッキリしない不可解なことがありました。私は彼

写真:PA Images/アフロ

ありましたが、私は彼

くるなんだろうな～。

表彰式の写真を借りるに当たつて、各団体と藤澤さんにも連絡をしました。藤澤さんからは「ぜんぜん問題ないです」と、ご快諾いただきました。忙しいでしょ、と聞くと今は隔離期間で暇です、とのこと。また東京とどの実の集いにきてくださいとのお願いに「機会があればぜひ」とお返事でしたが、これから忙し



平昌五輪のあと、銅メダルを持って東京とどの実会懇親会に来てくれました。



母校に張られた藤澤さんを応援する横断幕

編集後記

今度の東京とどの実の総会、懇親会どうしたらいいべか。今ままのコロナの状態では開くのは無理っしょ。酒や食い物を止めて開くのはどうかい？ 人数もしぼって。酒が入るとどうしても声が大きくなるもね。酒なし、会話もヒソヒソじゃつまらんべさ。やらん方がいいっしょ。とにかくもうしばらくコロナの様子を見た方がいいんでないかい。ネイティブ北見弁の方、ごめんなさい。故郷を離れて半世紀の私の絞り出した北見弁。幹事会では上記のような内容をリモートで真剣に話し合い、4月の幹事会で泣く泣く中止を決めました。来年こそコロナが収まつて開催できることを祈ります。(N.Y.)



48期の修学旅行：奈良で鹿と戯れる将来の画家。仮装行列。両方に恩師安藤美紀夫先生も

思い出の写真

